

令和6年9月18日

那須烏山市議会議長 青木敏久様

文教福祉常任委員会委員長 荒井浩二

決算審査結果報告書

本委員会に令和6年9月9日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和6年9月10日（火）及び11日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 荒井浩二、平塚英教、堀江清一、矢板清枝、滝口貴史

4 説明のための出席者

市民課長 大谷啓夫、福祉事務所長兼健康福祉課長 岡 誠、こども課長 水上和明、学校教育課長 齋藤浩文、生涯学習課長 黒尾明美、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の令和5年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、一部反対意見はあったものの、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

各課共通事項

- ・福祉・教育・医療においては、それぞれの提供体制に地域差が生じないよう、国や県への要望活動により一層努められたい。

市民課

- ・熊田診療所及び七合診療所は1次医療圏に位置づけられる医療機関として大きな役割を果たしており、地域住民へ安定的な医療提供が行えるよう、必要に応じて施設の修繕や診療器具の更新等を検討されたい。

- ・マイナンバーカードを利用した、コンビニエンスストアでの住民票の写しや印鑑登録証明書等の交付について、前年度と比較し倍以上の交付枚数となったことを評価する。中でも業務時間外の利用が多いことから、今後は更なる周知を行い、業務効率や市民の利便性向上を図られたい。
- ・市民から信頼され、親しまれる窓口を目標に、日々の接遇の向上に努めるとともに、カスタマーハラスメント対策を検討し職員の安全性の確保に努められたい。

健康福祉課

- ・健康マイレージ事業について、利用者拡大に向けた周知方法の見直しにより申請者が大幅な増加となったことを評価する。今後は児童・生徒を対象とした各種イベント等での周知を検討され、更なる利用者拡大や市民の健康保持・増進に努められたい。
- ・ふれあいの里やいきいきサロン等の一般介護予防事業については、筋力低下や認知症対策、介護予防に有効な取組であることから、参加者増加に向けた開催地域の拡大に努められたい。

こども課

- ・なすからこども園（認定こども園）については、新園舎建設から旧園舎解体まで計画に沿った進捗管理を行うとともに、令和7年4月の開園に向けて設備等の移行を滞りなく進められたい。
- ・市内特定教育・保育施設の副食費免除事業費補助金については、令和6年度まで実施としているが、子育て世代の負担軽減に寄与している事業であることから、令和7年度以降も継続されるよう事業形態を調査研究され、子ども・子育て支援施策の更なる充実を図られたい。

学校教育課

- ・すこやか推進担当によるすこやか相談・教育相談センターについては、不登校や就学関係等の様々な相談が見受けられることから、相談者一人ひとりへのきめ細やかな対応に努められたい。また、市内小中学校での特別支援教育の充実に向けて教職員のスキルアップに努められたい。
- ・スーパーティーチャー育成事業については、これまでに実施した先進地視察等での研修内容を学校内で共有し、本市の実情に合った教育環境の調査研究を更に進め、市内小中学校の教員の授業力向上及び児童生徒の学力向上に努められたい。
- ・児童見守りシステムの現在の利用状況を検証し、児童の安全確保のため、時代に即したシステムへの見直しを検討されたい。

生涯学習課

- ・本市の指定文化財について、所有者へ文化財の現況調査及び修繕等への意向確認を行い、適切な修復作業を実施するよう検討されたい。
- ・那須烏山市生涯学習推進計画については、令和5年度に実施したアンケートの内容を踏まえて第四期計画策定業務を進め、市民の生涯学習活動や地域活動の充実を図られたい。